採用案内

文系専攻のみなさまへ



明日の“いただきます”のため

沖縄の「食」を支える仕事。

一緒に、挑戦しませんか。

内閣府沖縄総合事務局 農林水産部












「 いただきます 」

何気ないこの言葉。
実は、育てる人、作る人、運ぶ人など、
多くの人が関わっています。

私たちの仕事は、
そんな、沖縄の「食」に関わる人たちを支えること。

明日の “いただきます”のためにできること、
私たちと一緒に考えてみませんか？

「食」は人々の生活を豊かにするとともに生命を支えています。

また、日本の食を支える農林水産業は、食料生産だけでなく、
地域社会の維持・発展を担う重要な産業です。

沖縄総合事務局農林水産部は、

生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承するという農林水産省の使命を

地域・現場レベルで遂行することで
沖縄の食料・農林水産業の振興、農山漁村の活性化に貢献すべく、
日々業務に取り組んでいます。









Contents

沖縄総合事務局とは ・・・P３
農林水産部の仕事と組織構成 ・・・P４
多彩な沖縄の農林水産業 ・・・P５
農林水産部が行う取組 ・・・P７
沖縄県の農林水産業における様々な取組 ・・・P８
農林水産行政に関する業務とは ・・・P９
人材育成と研修制度 ・・・P10
勤務地とキャリアパス ・・・P10
先輩職員（行政区分採用）の紹介 ・・・P11
農林水産部職員のとある１日 ・・・P13
若手職員のあゆみ ・・・P15
農林水産部の採用情報 ・・・P17
よくある質問 ・・・P18

内閣府

沖縄総合事務局とは

昭和47年の沖縄本土復帰と同時に、沖縄の振興開発を一元的、効率的に推進するため、沖縄開発庁の地方支分部局として設けられた国の総合出先機関です。平成13年の省庁再編により、内閣府の地方支分部局として再編されました。



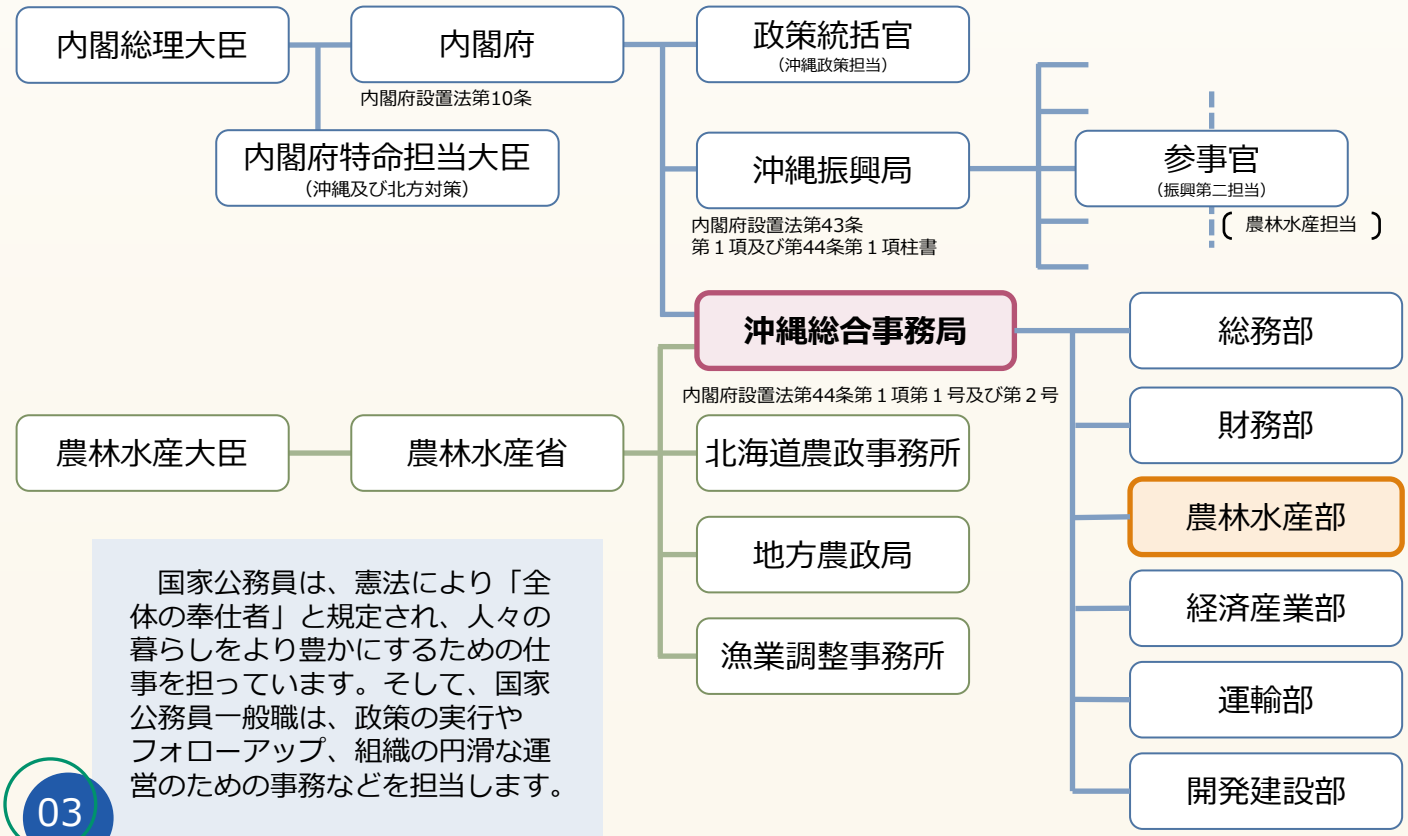
おもろまちの本局庁舎

沖縄総合事務局の業務

ダム、道路、港湾、空港などの整備、農林水産業の基盤整備等の公共工事や、その他沖縄の振興に直接関係のある各省庁の地方支分部局の仕事を広く含んでおり、その仕事は広範にわたります。

- 振興開発計画の作成及び推進に関する仕事
- 沖縄における経済の振興及び社会の開発に関する仕事
- 公正取引委員会事務総局の各地方にある事務所の仕事
- 財務省の各地方にある財務局の仕事
- 沖縄の復帰に伴い政府において特別の措置を要する事項に関する仕事
- 農林水産省の各地方にある地方農政局の仕事
- 農林水産省の林野庁の民有林に関する仕事
- 農林水産省の水産庁の一部の仕事
- 経済産業省の各地方にある経済産業局の仕事
- 国土交通省の各地方にある地方整備局、地方運輸局の仕事

沖縄総合事務局の組織構成



国家公務員は、憲法により「全体の奉仕者」と規定され、人々の暮らしをより豊かにするための仕事を担っています。そして、国家公務員一般職は、政策の実行やフォローアップ、組織の円滑な運営のための事務などを担当します。

農林水産部の仕事

農林水産部は、農林水産省の出先機関である地方農政局の所掌する業務や、農林水産省の外局である林野庁・水産庁の所掌事務の一部を実施する組織として設けられており、農林水産省や内閣府（沖縄振興局）が所掌する業務を現場段階で取り組んでいます。

私たちの使命は・・・



沖縄のフィールドで
「食」と「環境」を未来に継承すること

【中央省庁】政策の企画立案

- 基本的な方針の作成、課題の設定
- 課題に対する政策手法（法令・事業）の検討
- 政府内・外部との調整、国会での質疑対応
- 法令作成、予算確保　等

指示・連携・報告

フィードバック

【地方局】政策の実行

- 現場への政策の周知
- 法令、事業等の執行（検査、補助金交付等）
- 政策情報の収集
- 現場の課題や二ーズの把握　等

農林水産部の組織構成

農林水産部長

総務調整官

首席企画指導官

農政課	部内の総合調整、企画立案、庶務、農協等検査、情報システム、農林水産施策全般にわたる相談、情報の発信　等
経営課	農業経営体の育成、経営所得安定対策、新規就農、農地転用規制、農地の集積（農地中間管理機構等）、農協指導監督　等
農村振興課 農村活性化推進室	農業農村整備事業（国営かんがい排水事業の調査・計画・実施など）、災害復旧、農村活性化政策の総合推進、多面的機能支払、中山間地域等直接支払、都市と農山漁村の交流促進、鳥獣被害防止対策、農林水産業の６次産業化、地産地消 等
生産振興課 畜産振興室	農産物（さとうきび・野菜・果実・花き等）及び畜産物（肉用牛、豚等）の生産振興、みどりの食料システム戦略及びスマート農業の推進、環境保全型農業の推進、草地整備　等
統計調査課	全国統一基準で行う統計調査　等
消費・安全課	食品表示及び米穀等トレーサビリティの監視、消費者への情報提供、食品の安全性向上の取組、家畜防疫及び植物防疫の対策　等
食料産業課	食品産業の振興、バイオマス利活用、食品産業における環境の保全、地理的表示保護制度の推進、輸出促進、食育　等
林務水産課	治山、森林整備、森林病害虫の防除、災害復旧、漁業取締り、水産基盤整備、水産の資源管理・回復　等

<出先機関>
農林水産センター（那覇、名護、宮古島、石垣）
土地改良総合事務所
農業水利事業所（宮古圏域、石垣島）





多彩な沖縄県の農林水産業

沖縄では、亜熱帯地域の温暖な気候と広大な海に囲まれた地理的特性を活かし、各地で多彩な農林漁業の生産活動が行われています。



夏期にはマンゴー等の熱帯果樹が出荷される一方、国内産が端境期となる冬春期には、いんげん、トマト、かぼちゃ等も出荷されており、一部地域では米の二期作も行われています。

台風の常襲など厳しい自然環境にありますが、特に離島や北部では、さとうきびをはじめ、果樹、畜産等の農林水産業が地域経済を支えています。

沖縄県経済と農林水産業・食品産業

沖縄県の経済全体における農林水産業（第１次産業）の割合は、就業者数、総生産額のいずれも全国平均を上回っています。特に離島では、産業別就業者数や総生産額に占める農林水産業の割合が県平均と比べてもさらに高く、農林水産業が地域の経済の中で極めて重要な役割を果たしていることがわかります。＜表１＞

表１：離島の第１次産業就業者数(令和２年)及び総生産(令和４年度)

	第１次産業就業者数（15歳以上）（人）		総生産額（百万円）	
	全産業	第１次産業	全産業	第１次産業
離島	57,700	8,384 **(14.5%)**	436,096	16,700 **(3.8%)**
沖縄	577,419	23,267 (4.0%)	4,461,530	44,129 (1.0%)
全国	57,643,225	1,962,762 (3.4%)	584,900,600	4,963,800 (0.8%)

資料：沖縄県「離島関係資料」、総務省統計局「令和２年国勢調査（就業状態等基本集計）」を基に作成。
注１：離島は、沖縄本島以外の島であり、かつ沖縄本島と埋立、海中道路又は架橋により連結されていないものを指す。
注２：就業者数は、令和２年10月１日現在の統計（令和２年国勢調査）。
注３：総生産額は、全部が離島の市町村のみを集計し、一部に離島を有する市町村は含まない。
注４：（ ）内は全体に占める割合。

✿ 沖縄の農林水産物 ✿

さとうきび



県内の約６割の農業経営体が栽培する沖縄の基幹作物。収穫面積は全国の過半を占める。

収穫面積

全国１位

収穫時期　12月～３月

マンゴー



温暖な気候を活かして栽培されている主力果実。県内各地で生産され、収穫量は全国の半分を占める。

収穫量

全国１位

収穫時期　７月～８月

パインアップル



本島北部や八重山地方が中心の本県特産の果実で、収穫量は全国のほぼ100%を占める。

収穫量

全国１位

収穫時期　６月～８月

ゴーヤー



温暖な気候を活かして、冬春期には全国に供給される主力野菜。収穫量は全国の４割を占める。

収穫量

全国１位

収穫時期　５月～７月

キク



冬春期に全国へ供給する主力花き。本島を中心に生産され出荷量は全国の２割を占める。

出荷量

全国２位

収穫時期　11月～５月

シークワーサー



本島北部が中心の本県特産の果樹で、収穫量は全国のほぼ100%を占める。

収穫量

全国１位

収穫時期　８月～２月

豚



豚肉は、古くから沖縄の食文化を支えており、食味に関連する成分（オレイン酸）が多いと評価が高い沖縄特産の豚（アグー）に代表される肉豚等を生産。

飼養頭数

全国14位

子牛（肉用牛）



主に、年間を通じて安定的に生産される牧草（飼料）を利用した繁殖経営が行われている。肥育経営も全国トップレベルのブランド牛を生産。

子牛取引頭数

全国４位

もずく



養殖業により、収獲量は全国のほぼ100%を占める。

収穫量

全国１位

収穫時期　３月～６月

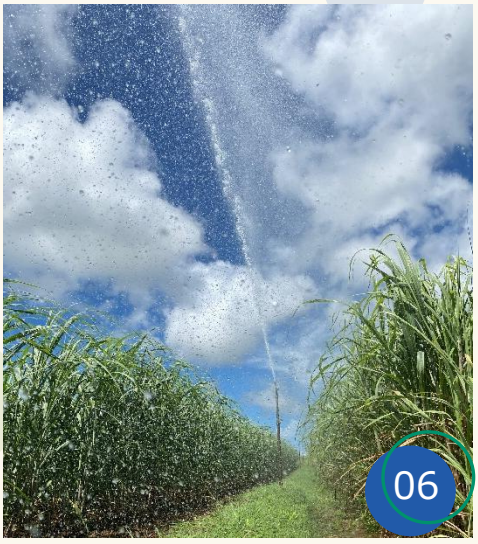
※令和８年４月時点

また、農林水産業と関係の深い食品産業についても、沖縄の製造業全体に占める食料品製造業の割合は、事業所数、従業者数、出荷額のいずれも全国平均を大きく上回ります。＜表２＞

表２：沖縄県内の食料品製造業の割合

	事業所数（カ所）	従業者数（人）	出荷額（億円）
全製造業	958	23,219	5,166
食料品製造業	286	10,749	2,052
食料品製造業の割合	29.9%	46.3%	39.7%
（全国）食料品製造業の割合	11.1%	14.7%	9.2%

資料：経済産業省「2025年経済構造実態調査（製造業事業所調査）」を基に作成。
注１：事業所数、従業者数は、令和７(2025)年６月１日現在の実績。
注２：製造品出荷額は、令和６(2024)年１月から令和６(2024)年12月の実績。



農林水産部が行う取組

基盤整備

- 地下ダム等のかんがい施設の直轄整備
- 農地集積・集約化、農業の高付加価値化に取り組む地区の農地整備等への支援
- 草地造成・草地改良等の飼料生産基盤の整備
- 安心・安全な水産物の安定供給を実現するための漁港・漁場整備への支援　　等



▲地下ダム止水壁の施工



▲漁港の整備



▲防災林の造成



▲草地整備

生産振興

- 高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換等の総合的な支援
- ハーベスター等の導入支援など各種事業による増産支援　　等



▲大型ハーベスターによるさとうきびの収穫



▲農業用ハウスの整備

指導・取締り

- 違法操業外国漁船の取締り
- 食品の生産や流通に関わる事業者等の監視・指導
- 違反事業者への行政指導、是正状況の確認　　等



◀牛トレーサビリティ制度



▲漁業取締船による台湾漁船の拿捕

沖縄県の農林水産業における様々な取組

農林水産部では、沖縄県や各市町村などと連携して、沖縄の「食」と「環境」を支える様々な活動を補助事業などで、サポートしています。

ブランド化

－ブランド価値の向上－
琉球泡盛テロワールプロジェクト



長粒種米を使用して製造されたテロワール泡盛

泡盛原料用米（長粒種米）を県内で生産して泡盛のブランド価値を高め、その魅力を最大限ＰＲするため国、県、ＪＡ、酒造組合などによる「琉球泡盛テロワールプロジェクト」を実施しています。

泡盛原料用米を県内で生産することで、沖縄の水田農業の活性化が期待されます。



伊是名島での長粒種米（北陸193号）栽培状況

観光

－農泊－　【国頭村】
やんばる暮らし文化継承協議会



サンゴの苗づくり

地域課題である空き家・空き地を活用し、古集落特有の歴史文化に身を置く滞在拠点（宿泊施設）を整備するとともに、地域住民と連携して伝統ハーブ等を活用した食事メニューや体験プログラムの開発、集落案内ガイドの育成等を実施しています。



やんばるホテル南溟森室



インバウンド受け入れ

福祉

－農福連携－　【糸満市】
医療法人 陽和会



収穫した野菜の販売

医療法人で所有している畑を活用し、法人で行っている就労継続支援事業の訓練として農作業を行うため、栽培技術の習得を行うとともに、休憩室兼作業施設の整備を実施しました。



整備した休憩室兼作業施設



畝作りの様子

輸出

－輸出促進－　【石垣市】
株式会社 八重山食肉センター

和牛肉の輸出拡大を推進するため、(株)八重山食肉センターでは従前のタイ、マカオに加え、新たに台湾、シンガポールへの輸出に向け、輸出先国の衛生管理に合致する施設整備を実施しました。



八重山食肉センター



タイでの商談の様子

高単価の価格帯を期待できる牛肉の品質の確保、継続した輸出への取組に向けて、JETROなど輸出支援機関とも連携し輸出拡大に向けた活動を推進しています。

環境

－みどりの食料システム戦略－
EF Polymer株式会社　【恩納村】

OIST（沖縄科学技術大学院大学）発のスタートアップ企業であるEF Polymer株式会社が開発した超吸水性ポリマーは、農作物の残渣を原料とする100%自然由来の生分解性資材です。これを農地に散布することで、土壌の保水力・保肥力が向上し、農作物の収量の増加や農家の潅水・肥料コスト低減に貢献してます。







超吸水性ＥＦポリマー製品

AI・ICT

－スマート農業－　【八重瀬町】
野原伸也氏ほか生産者及びサービス事業者

八重瀬町のさとうきび生産者は、自動操舵機能付きトラクターによる請負作業の効率化や、機械の作業効率を高める枕地の確保等を内容とする「生産方式革新実施計画」について、令和７年９月に沖縄県内初となる農林水産大臣の認定を取得しました。関係機関と連携しスマート農業技術の活用を促進しています。



自動操舵機能付きトラクター

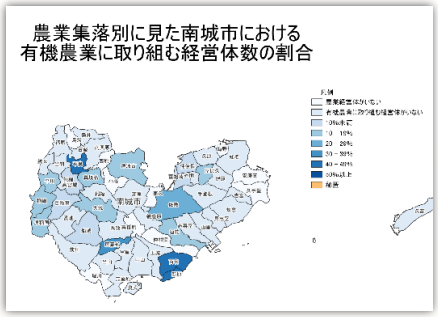


認定証授与の様子

農林水産行政に関する業務とは

　農林水産部には、農畜産物の生産振興、輸出の支援、食品の安全性向上の取組など、沖縄の「食」と「環境」に関する様々な業務があります。

　職員の具体的な仕事としては、関係機関との調整や、事業者への補助事業等に係る助言・指導・申請書の審査、普及啓発のための情報発信などの仕事や、これらに伴う行政文書の作成、会計経理などの事務作業を行っています。





地域農業の現状を地図で見える化

　また、一般的なデスクワークのみではなく、統計データ整備のための農家訪問や、事業者へのヒアリング、県・市町村等との打合せなど、現場へ出向く機会も多くあります。

✿ 業務風景 ✿


▲補助事業等現場視察


▲施策等説明会


▲情報収集の様子


▲出前授業



▲県や市町村との意見交換・相談対応


▲実演会等の開催


▲打合せ


▲漁業取締り



▲広報活動（SNSでの情報発信）

人材育成と研修制度

農林水産部独自の研修

職務遂行に必要な基礎的知識の習得や、沖縄の農林水産業の現状や課題、特徴等への理解を深めることを目的として、若手職員を対象とした勉強会（現地研修・座学・グループワーク等）を定期的に開催しています。

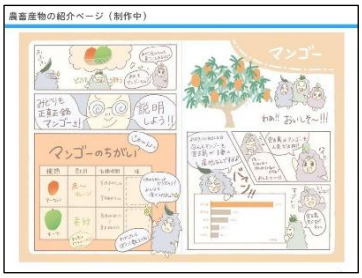
また、政策立案や事業推進に必要なデータ活用スキル向上のための統計利活用に係る研修など、農林水産省等が実施する専門研修に参加する機会もあります。



▲現地研修（さとうきび）



▲現地研修（パインアップル）



▲パンフレットの作成



▲漁業取締船（搭載艇）体験乗船の様子

沖縄総合事務局職員の研修

社会人として必要なスキルを身につけるための研修制度も充実しています。様々な研修制度を活用して、自分のスキルアップを目指せます。

＜階層別研修＞

・新規採用職員研修（対象者：新規採用職員）

・係長研修（対象者：係長級の職員）　他

＜スキル向上・実務研修＞ ※令和７年度の実施例

・接遇研修　・ロジカルシンキング研修　・DX理解研修

・Excel研修　・後輩サポート力研修　・文章力研修　他

勤務地とキャリアパス

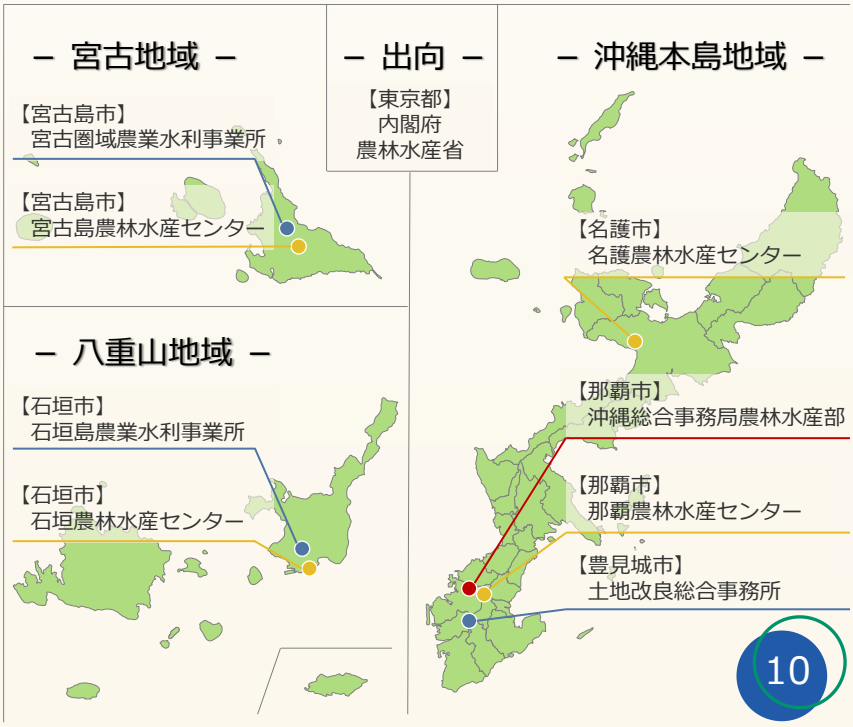
沖縄総合事務局に採用され、農林水産部に配属された場合、主に那覇市おもろまちに所在する沖縄総合事務局（第二地方合同庁舎）で勤務することになります。この他、豊見城市、名護市、宮古島市、石垣市に出先機関があり、また、農業の現場に近い離島官署で勤務することもあります。

本人の希望に応じて内閣府沖縄振興局及び農林水産省（東京都千代田区霞が関）に出向することも可能です。

概ね２年サイクルで幅広い分野の業務を経験し、若手のうちに離島や東京での勤務を経験する機会もあります。



▲水稲の刈取り調査の様子
（石垣農林水産センター）



先輩職員（行政区分採用）の紹介



2020（令和２）年度採用
採用区分：行政沖縄
農政課　経理係

桃原 若菜

行政沖縄

2020.４　採用／食料産業課
2021.４　石垣農林水産センター
2023.４　消費・安全課
2024.４　総務部会計課（部間交流）
2026.４　農政課

※作成当時

Q学生時代の専攻と採用後の業務内容について

大学では法文学部で法学を専攻していました。採用後は食育推進業務のほか、石垣農林水産センター内の経理、パインの収穫量調査、牛トレーサビリティ関係業務や食品表示監視業務を担当しました。

現在は農政課で経理を担当し、農水部全体の契約や支払い手続きを行っています。

Q 仕事を通してのやりがいは？

昨年度、総務部会計課への２年間の部間交流の機会をいただき、会計手続きに関する知識と理解を深めました。各部からの質問や依頼に応える中で、感謝の言葉をいただいたときは、職員の業務を支えている実感を得られたことに大きなやりがいを感じました。また、部を超えた人脈づくりができたことです。

Q 農林水産部を目指す学生へのメッセージ

行政区分の採用で農業の知識がなくても、生産者や食品事業者などの現場へ足を運ぶ機会が多く、業務の中で農林水産業に関する知識を楽しく学ぶことができます。

ぜひ農林水産部で、沖縄の「食」を支える仕事を一緒にしてみませんか？



2022（令和４）年度採用
採用区分：行政沖縄
林務水産課　林政係

長濱 瑠偉

行政沖縄

2022.４　採用／畜産振興室
2023.４　石垣農林水産センター
2025.４　農政課
2026.４　林務水産課

※作成当時

Q学生時代の専攻と採用後の業務内容について

大学はヨーロッパ文化専攻で、スペイン語圏の文学について研究していました。農林水産業についての知識は０で入局しています。採用後は、給食用の牛乳に関する事業や関税割当、食品リサイクル業務を担当しました。農政課では部内のシステム関係業務を経験し、現在は林務水産課で主に治山や森林整備の公共事業を担当しています！

Q 仕事を通してのやりがいは？

現場と近い距離で、沖縄の基幹産業のひとつである農林水産業を支えることができる点です。生産者、行政、企業の皆さんと直接顔を合わせ、法制度や事業の実施等に関わることができます。感謝の言葉を直接いただくことも大きなやりがいです。

Q 農林水産部を目指す学生へのメッセージ

文系だから、農林水産部に来ても大丈夫かな、と思っていませんか？全く気兼ねする必要はありません！農林水産部の業務内容は多岐に渡り、皆さんの強みを活かせる場所がきっとあります。ぜひ、説明会にご参加ください😀農林水産部にめんそーりよー。



2023（令和５）年度採用
採用区分：行政沖縄
土地改良総合事務所　一般職

佐久間 沙愛

行政
沖縄

2023.4　採用／消費・安全課
2024.4　石垣農林水産センター
2026.4　土地改良総合事務所
※作成当時

Q学生時代の専攻と採用後の業務内容について

大学では法学部に所属しており、政策学を専攻しておりました。採用後、石垣島での勤務では、農作物の生産量を調査する生産統計や、牛トレーサビリティに関する業務を担当しました。現在は庶務を担当しており、給与や勤務関係、旅費に関する業務など、職員が円滑に業務を行えるようサポートしています。

Q 仕事を通してのやりがいは？

現在勤務している土地改良総合事務所では、地下ダムやかんがい施設など、農業を支える基盤整備事業を行っています。農林水産部のさまざまな業務を通して、沖縄の農業や地域について知る機会が多く、日々新しい発見があります。農業の奥深さや魅力に触れるとともに、間接的ではありますが農業を支える仕事に関われることにやりがいを感じています。

Q 農林水産部を目指す学生へのメッセージ

業務では、農業の専門用語が難しかったりと、苦戦する場面もありますが、上司や先輩方が優しくサポートしてくださるので、日々楽しく業務に取り組めています。

農林水産部の仕事内容は、なかなかイメージができないと思いますが、皆さんにとって身近な「食」を支えるやりがいのあるお仕事です。少しでも興味を持った方は、ぜひ一度、業務説明会にご参加ください(^^)



2019（平成31）年度採用
採用区分：行政沖縄
生産振興課　環境事業調整係

兼島 直哉

行政
沖縄

2019.4　採用／経営課
2021.4　石垣農林水産センター
2022.4　石垣島農業水利事業所
2023.4　生産振興課
（2025.4　農林水産省へ出向）
※作成当時

Q学生時代の専攻と採用後の業務内容について

学生時代は、産業経営学科でサービスマーケティングを専攻しておりました。

採用後は、農地の適正利用を確保するための規制業務や、ロボット・AI・IoT等の情報通信技術を活用した「スマート農業」を推進する業務、「有機農業（オーガニック）」を推進する業務などを担当しています。

Q 仕事を通してのやりがいは？

仕事の相手方は、農家さんから行政、機械メーカー、スタートアップなど多岐にわたります。役職を問わず様々な方と関わることで、多角的な視点で考える力や多様な知識を習得でき、継続して成長できる点にやりがいを感じています。

Q 農林水産部を目指す学生へのメッセージ

農業分野の知識だけでなく、法律や経営的知識など多様な知見を持って、国や地域の課題に向き合って支援をしていくお仕事です。文系であっても活躍できる職場になっていますので、是非、説明会にご参加ください。

農林水産部職員のとある１日

2023（令和５）年度採用
採用区分：農学

石垣農林水産センター　一般職

仲間 諒太

2023.4　採用／食料産業課
2024.4　石垣農林水産センター
※作成当時



石垣農林水産センターで
農作物の統計調査を担当している
2023年度採用の仲間です！
統計業務の１日を例に仕事の様子を紹介します！

学びながら趣味も充実！

公務員として働くことで様々な分野に携わり、
先輩・上司に助けてもらいながら
知識を身に着けることができます。
また、定時後の時間を使って
趣味を目一杯楽しんでます！！！

08:30 出勤。メール・スケジュール確認



出勤して、
メールとスケジュールを確認！
本局統計調査課へ
報告する必要があるものは
〆切などをよく確認しないと
後々に響きます・・・。

09:00 調査員さんからの調査報告



臨時的に調査業務を
お願いする調査員から
談笑を交えながら、
島内野菜の作付情報、
その生育状況等を
報告してもらっています。
癒しです。

10:00 本局統計調査課への報告に向けた検討会



報告書類をまとめて
上司と一緒に検討！
複数調査が重なったときは
本当に大変ですが・・・
だいたいなんとかなります。

12:00 栄養補給・・・昼食

枯渇した体に
栄養をぶち込みます。
至福。
10時にはお腹空いてます。
水を飲んで耐えます。



13:00 調査のためほ場へ

石垣管内の水田を
実際に見て回ります！
運が良ければカンムリワシなどの
珍しい動物にも会えます！



15:00 調査、タノシイ



畑の形、作物の種類等を
確認しながら、
お会いした農家さんにも
お話を聞いて
報告の参考にします。

17:00 定時に間に合うように切り上げる！



定時退庁のため、
ソワソワしながら
センターへ引き返します。
巡回の場所は、時間によって
臨機応変に変えたりします。

17:15 退庁後は趣味の時間



2024（令和６）年度採用
採用区分：行政区分
食料産業課　食品産業担当係員

與那嶺 梨恵

2024.4　採用／食料産業課
※作成当時

農林水産部食料産業課で食育の推進や
食品産業に関する助言などを担当している
2024年度採用の與那嶺です！
食育関連イベントに向けて準備を行った１日を例に
お仕事の様子を紹介します！

楽しくお仕事をモットーに！

楽しく仕事をすることをモットーに
毎日がんばって仕事をしています！
難しい書類や行政用語に戸惑いながらも、
優しい先輩方に相談しながら、
日々業務に取り組んでいます！

08:30 出勤。メールチェック

出勤したら、
まずはメールをチェック！

今日の業務の
優先順位を決めていきます。



09:00 イベントでの展示資料の準備



この日は
イベントの準備で大忙し！

どの資料を展示
するか検討中。。。

10:00 イベント関係に向けた事業者との打合せ



イベント開催にご協力いただく
事業者と事前打合せ！

外部の方との打合せは
毎回緊張します・・・。

12:00 ランチタイム



同僚とランチ♪楽しすぎる時間です♡

13:00 デスクワーク

イベント準備以外の
通常業務もあります。

上司へ相談しながら
取り組みます。



15:00 イベントの広報などの準備



イベントについて公式
SNSに投稿、局HPへ掲載、
会場の下見も。。。

17:00 退勤前の業務チェック！



退勤前の大事なチェック！
今日やるべきことに漏れがないかと、
明日やるべきことを確認します。

17:15 バスで帰りまーす！

若手職員のあゆみ





2021（令和３）年度採用
採用区分：農学
生産振興課畜産振興室　飼料係

上原 美咲

生産振興課で草地整備を支援する事業を担当している上原です！農林水産部は、上司に相談しやすい雰囲気があり、仕事とプライベートを両立しやすい働きやすい職場だと思います。また、事業の手続きや現地調査などの業務を通して、沖縄の農林水産業について幅広く知ることができる点も魅力のひとつです。興味のある方はぜひ職場説明会などに参加してみてくださいね！

1年目　農政課 調整係

- 部内業務の総合調整
- 広報業務

▶ 農林水産省と部内各課との調整やとりまとめ、施策や県内取組み情報等の受発信などを担当しました。

2年目　石垣農林水産センター

- 生産統計調査

畑・田の面積、野菜・果樹・水稲などの作付面積や収穫量を調査。

▶ 調査票や農家・調査員からの聞き取り内容を取りまとめて本局の統計調査課へ報告します！

4年目　経営課 経営所得安定対策係

- 経営所得安定対策（対象作物：水稲、そば、小麦等）
- 農地利用効率化等支援交付金

農業用機械やハウスなどを整備したい農家への支援を行う事業を担当。

▶ 主に農林水産省や沖縄県、市町村と調整し、事業の実施に必要な事務手続きを行います。

6年目　畜産振興室 飼料係

- 草地畜産基盤整備事業

牛の餌となる草地の整備を支援する事業を担当。

▶ 農林水産省や沖縄県、市町村と事業内容を検討し、事業の実施に係る事務手続きを行っています。

主な経歴

- 2021年　採用／農政課配属（那覇市）
- 2022年　石垣農林水産センター（石垣市）
- 2024年　経営課（那覇市）
- 2026年　生産振興課畜産振興室（那覇市）

＼石垣産パインは甘くて美味しい☆／



＼調査中に出会ったヤエヤマセマルハコガメ／





車の調子が悪いみたい･･･泣



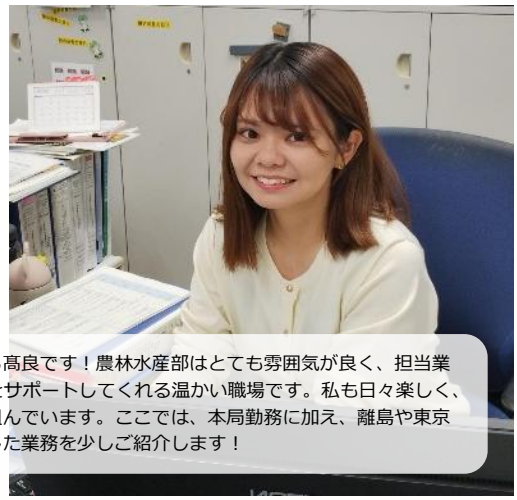


石垣の自然に癒される日々です。



2019（平成31）年度採用
採用区分：林学
農政課　農政推進専門職

髙良 美沙希



農政課で採用活動を担当している髙良です！農林水産部はとても雰囲気が良く、担当業務に関わらず先輩職員が若手職員をサポートしてくれる温かい職場です。私も日々楽しく、やりがいを感じながら仕事に取り組んでいます。ここでは、本局勤務に加え、離島や東京での仕事など、これまで私が経験した業務を少しご紹介します！

1年目　統計調査課 経営統計第二係

●統計調査（経営統計）

サトウキビ・牛のコストを調査する生産費調査を担当。

▶ 各農林水産センターが調査したデータを集計し、
沖縄県計値として農林水産省へ報告する業務を担当しました。

2年目　石垣農林水産センター

●統計調査（生産統計）

畑・田の面積、野菜・果樹・水稲・花きなどの作付面積や収穫量の調査、牛・豚・ブロイラーの飼育頭数調査を担当。

▶ 農家やＪＡ、市町村などから情報収集を行い、
八重山地域のデータを整理して統計調査課へ報告します！

主な経歴

- 2019年　採用／統計調査課配属（那覇市）
- 2020年　石垣農林水産センター（石垣市）
- 2022年　農林水産省　出向（東京都）
- 2024年　林務水産課（那覇市）
- 2026年　農政課（那覇市）





4年目　農林水産省農産局（出向）

●蚕糸業振興係（担当品目：養蚕・蚕糸、和紙原料）

●補助金の執行やイベントの開催、予算要求等

補助対象品目を生産する民間団体等に対し、商品開発や需要拡大に向けた取組みを支援する補助事業を担当。

▶ 主に全国の養蚕・和紙原料の農家や業界団体と連携し、
補助事業の実施に必要な事務手続きやイベントの企画を行いました。
本省ならではの予算要求や国会対応なども経験できました！





6年目　林務水産課 林政係

●公共事業（治山・盛土）の補助金業務

●特用林産物（きのこ、木材等）の補助金業務

沖縄県内の森林・林業に関する補助金業務を担当。その他、県内の林業に関するイベント等の林政業務を担当。

▶ 事業の適切な執行に向けて、沖縄振興局や林野庁、沖縄県と
連携しながら工事計画の確認や補助金の交付手続きを行いました。

8年目　農政課 農政推進専門職

●農林水産政策全般の相談や情報発信

●農林水産部の採用活動

▶ 沖縄県内の大学等で業務説明会を開催しています。
本パンフレットの作成を担当しました！

農林水産部の採用情報

農林水産部で採用可能な試験区分（大卒程度の場合）

出身大学・学部等を問わず、面接による人物重視の選考を行っています！

農林水産部では、国家公務員採用一般職試験（大卒程度）のすべての試験区分を対象に採用を行っています。

事務官（行政区分採用者）・技官（技術系区分採用者）の区別なく農林水産行政に関する業務を行っていただきます（農業農村工学採用を除く）。もちろん、文系・理系、出身学部、専門知識の有無は問いません。就職後も学び続ける姿勢を持っていれば、自ずと農林水産業についての知識も身についていきます。

試験区分による業務の違いはありません！
※農業農村工学を除く

採用予定試験区分

1. 行政沖縄区分
2. 教養沖縄区分
3. 技術系区分

技術系区分

農学、農業農村工学、林学、化学、土木、機械、物理、デジタル・電気・電子、建築

【参考】採用スケジュール　<2026年度一般職試験（大卒程度）の例>

2月19日～3月23日	5月31日	6月24日	7月7日～7月21日	7月8日～7月24日	7月28日～8月10日	8月12日	10月1日以降
試験申込期間	第一次試験（筆記試験）	第一次試験合格発表	沖縄総合事務局・農林水産部業務説明会（全体業務説明会）	第二次試験（人物試験）	沖縄総合事務局官庁訪問	最終合格発表	内定



【参考】直近の採用実績

令和６年度

新規採用４名（男３／女１）
選考採用４名（男２／女２）
（一般職係長級（技術系））

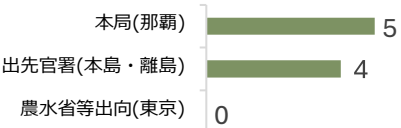
＜参考＞採用３年目の配属先



令和７年度

新規採用５名（男２／女３）
選考採用４名（男３／女１）
（一般職係長級（技術系））

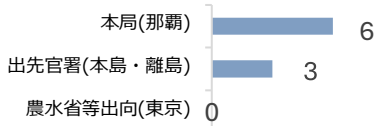
＜参考＞採用２年目の配属先



令和８年度

新規採用７名（男４／女３）
選考採用２名（男２／女０）
（一般職係長級（技術系））

＜参考＞採用１年目の配属先



よくある質問

Q 農林水産分野に詳しくなくても大丈夫・・・？

A 行政事務は、農林水産省等の施策の周知や補助金の交付事務、食品に関する事業者等への指導がメインです。これらの業務を遂行するに当たって、行政・教養区分の試験を合格された皆様の教養や事務処理能力を必要としています！

Q 異動や転勤は多い？？

A 基本的には２年を目安に異なる業務に従事します。定員の多い那覇市の本局で勤務する機会が多いです。若手～中堅の頃に、仕事のフィールドが生産現場に最も近い離島や本島北部の出先官署で勤務するパターンも多く、その経験がのちのキャリアに役立ちます。

Q 上司の対応や職場内の雰囲気は？

A 各職員、各々担当する業務を責任をもって遂行する必要がありますが、各業務に指揮系統ラインがしっかりあるため、若手でも上司に相談しながら安心して働くことができる風通しの良い職場です。職員が県内各地で購入してきた旬のフルーツが休憩時間に振る舞われることもある等、楽しみながら業務を行っています。

Q 残業は多い？家庭との両立は可能？

A 自分の時間もしっかり持つことができます！定時退庁日の設定や、業務効率化・ワークライフバランス推進のための目標を人事評価に設ける等、組織として、超過勤務縮減や柔軟な働き方を推進しています。小さなお子さんがいる方は、フレックスタイム制や時差出勤等を活用する職員も多くいます。

Q 業務外のコミュニケーションは？

A 共通の趣味をもつ職員同士、スポーツや釣り、音楽等の活動を楽しむなど仲の良い職場です。飲み会で職員の意外な一面を発見したり、お昼時間も何気ない会話で盛り上がったりします！

Q 農林水産部ならではの魅力は？

A 国の政策を進める国家機関でありながら、沖縄県１県のみを所管するため現場との距離がとても近く、県や市町村とも連携して沖縄の食と環境を支える農林水産業発展のために力を注ぐことできることが当部ならではの魅力の一つです。



農林水産部
ホームページ

農林水産部
公式 X

内閣府沖縄総合事務局 農林水産部

農政課　採用担当

〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち2-1-1
那覇第２地方合同庁舎２号館８Ｆ
TEL：098-866-1627（直通）